

ヘルスケアアートについて

HEALTHCARE ART

ヘルスケアアートとは、病院や福祉施設などケアの現場にアートやデザインを取り入れて、患者さんやご家族、スタッフの方々に向けて、より快適な環境やコミュニケーション、体験などを提供する取り組みです。ホスピタルアート、Arts for Health などと呼ばれることもあります。

ヘルスケアアートの導入にあたっては、医療福祉施設スタッフやアーティスト、建築設計担当者など複数の関係者との協力や調整が必要となります。そのマネジメントのできる人材の育成を目指し、中面でご案内したような事業を実施しています。その他、ヘルスケアアートに取り組む際の参考になるようなWeb サイトや小冊子などを作成しましたので、下記にご紹介します。

「ヘルスケアアート事例集」サイト healthcare-art-works.com

ヘルスケアアートの多様な事例を紹介しています。キーワード検索やカテゴリー、タグから事例の絞り込みができます。事例の投稿も随時受け付けています。



ヘルスケアとアート、そのマネジメントを考える小冊子 01-04

healthcare-art.net/case/booklet.html

2018～2020 年度に 4 冊の小冊子を発行しました。すべて HP から PDF データをお読みいただけます。

- 01 「子どもにやさしい療養環境」
- 02 「霊安室とケア」
- 03 「英国のヘルスケアアートとマネジメント」
- 04 「ヘルスケアアートの先駆的実践と理論」



なごやヘルスケア・アートマネジメント推進プロジェクトとは

2018-2020 年度の3年間、「文化庁 大学における文化芸術推進事業」に採択をいただき、医療系・人文社会系・芸術工学系を擁する名古屋市立大学の人材と、20 年以上にわたる芸術工学部でのヘルスケアアートの実績を活かしつつ、ヘルスケア分野におけるアートマネジメント人材の育成やその有用性の啓発を目指し、連続講座やシンポジウム、ワークショップを開催してきました。今年度も引き続き採択をいただき、各地で展開されるヘルスケアアート活動をつなぐオンラインネットワークの構築を試みながら、医療福祉施設へのアートの企画提案や事例収集、海外の関連資料を読む学習会などを実施していきます。詳細は事業 HP をご参照ください。これまでの講義録や事業の活動報告、今後の事業予定などを掲載しています。

ヘルスケアアートなごや宣言 2020 「ヘルスケアアートは風のように」

病で病院に通い入院するとき

老いて高齢者施設で生活するとき

困難を感じて生きていくとき

モノトーンの施設の風景と変化の少ない生活が
不安と緊張をもたらし自分らしさが消えていく

そこに、爽やかに吹き抜ける風があった

その風はヘルスケアアート

ヘルスケアアートは

デザインとアートによって人と人が支え合う営み
問題を解決するデザインと人に寄り添い祈るアート

曖昧で人間味あふれる風は対話と共感を生み

生活に彩りと感動をもたらす

ヘルスケアアートに包まれる居心地よさ

ヘルスケアアートに参加する喜び

人々に支えられ困難と向き合いながら

笑顔で人間らしく過ごす力を取り戻す

誇りを持って働く職員

信頼できる医療と優しいスタッフたち

安心できる居場所がまちにあり

日常を過ごす地域へとつながる

日本中にヘルスケアアートの風を巻き起こしたい

多彩な人材と出会いつなごう

実践を積み重ね効果を話し合おう

ヘルスケアアートで支え合う仕組みを考えよう

ヘルスケアアートの風を束ねて大きなうねりを起こそう



▲ HP QRコード

なごやヘルスケア・アートマネジメント推進プロジェクト事務局

〒464-0083 名古屋市千種区北千種2-1-10 名古屋市立大学芸術工学部内

E-mail : healthcare_art@sda.nagoya-cu.ac.jp

HP : <https://healthcare-art.net> FAX : 052-721-3110

アートで ケア環境を 元気に!!

2021年度 ヘルスケア・
アートマネジメントを学ぶ
ワークショップ&ゼミのご案内

なごや ヘルスケア・アート
マネジメント 推進プロジェクト

もっと

1 企画実施WS
7/26|月|～秋冬

ワークショップ

コロナ 病棟の
患者さんやスタッフに
アートを届けよう!

2 輪読ゼミ
8/24|火|～冬頃

イギリスの
ヘルスケアアートの
報告書を読もう!

3 事業すべて
オンライン開催!
(Zoom 利用)
全国から参加できます

ワークショップ

3 事例集めWS
10/6|水|～冬頃

高齢者のための
ヘルスケアアート
事例を集めよう!

詳しくは中面を
見てね!

全国各地からヘルスケアアートの風を起こそう

NAGOYA HEALTHCARE ART MANAGEMENT 2021 ヘルスケア・アートマネジメントを学ぶ ワークショップ&ゼミのご案内

心身の不調や不安を抱えた人たちがより快適に過ごせるよう、病院や福祉施設などへのアートの導入が注目されています。作品の力や、アートを介したコミュニケーション、表現や鑑賞といった行為が、患者さんはもちろん、そのご家族やスタッフにもよい影響を与えます。本事業では、医療や福祉の分野でアートマネジメントのできる人材の育成を目指し、今年度はワークショップとゼミを開催します。全国からご参加お待ちしております！

参加無料・要申込・オンライン(Zoom利用)

ワークショップ

1 企画実施WS 定員15名 申込締切 7/22 | 木 | 全7回 7/26～秋冬 | 月 | 19:00-21:00 + 最終報告会 2022年1月

コロナ病棟の患者さんやスタッフの 皆さんにアートを届けよう！

名古屋市立大学医学部附属東部医療センターのコロナ病棟の患者さん(軽症・中等症)、スタッフの皆さんのために、ヘルスケアアートを企画し届ける事業です。ヒアリングから実施までの一連の流れを通してアートマネジメントの一部が体験できます。

※異なる職業の参加者でグループを組みアートの企画や検討をしていく予定です。経験やスキルは問いません。※医療施設や社会の状況などに応じて、内容や方法を検討して進めていきます。

講師・ファシリテーター・アドバイザー

篠原 佳則 (安井建築設計事務所 名古屋事務所 副所長)

村井 俊介 (医師 / 東部医療センター 高次ウイルス感染症センター 副センター長)

吉岡 純希 (株式会社 NODE MEDICAL 代表 看護師 / デザインエンジニア)

高野 真悟 (彫刻家 / 東部医療センター新病棟 ヘルスケアアーティスト)



コロナ病棟
の病室

【第1回】7/26(月) 19-21時
ガイダンス、医療者・建築家からの説明
【第2回】8/9(月) 19-21時
グループに分かれての企画検討
【第3・4回】8/23, 9/6(月) 19-21時
グループごとのアート企画発表1・2
【第5回】9月下旬
医療施設への提案とヒアリング
【第6回】10月頃
アート導入の経過報告と最終会の内容検討
【最終報告会】2020年1月 日時未定

2 輪読ゼミ 定員30名 申込締切 8/19 | 木 | 全8回 8/24～12/14 | 火 | 19:00-21:00 + 最終報告会 2022年2月

イギリスのヘルスケアアートの 英語の報告書をみんなで読もう！

2017年に英国の芸術と健康・福祉を考える超党派の議員グループ(APPGAHW)が発表したレポート『Creative Health: the Arts for Health and Wellbeing』は、医療社会福祉分野におけるアートの実践と研究に関する調査をもとに、政策や実践の改善に向けた提言をしたもので、英国のヘルスケアアートの促進に大きなインパクトを与えました。この事業では、その英文レポートの輪読をしながら、概要の把握と有益な情報の抽出等を行います。※参加者には翻訳の担当頁を割り振り、発表をしていただきます(運営側で PowerPoint のフォーマットを用意)。読む際は翻訳ソフトを利用して構いません。※参加者全員でこの英語文献を探検し、日本語概要版を作成することがゴールのひとつです。

講師・ファシリテーター

阿部 順子 (椋山女学園大学

生活科学部生活環境デザイン学科 准教授)

Alexandra Coulter

(Director at National Centre for Creative Health)

【第1回】8/24(火) 19-21時

ガイダンス、講師より目次と1章の発表など

【第2-7回】19-21時

9/14, 9/28, 10/19, 11/9, 11/30, 12/14(火)

受講生による発表とディスカッション

【最終報告会】2022年2月 日時未定

英国とオンラインでつなぎ質問や対話(通訳有)



英国のレポートに
掲載されている
David Shrigleyのイラスト
「THE ARTS ARE LIKE GLUE」

3 事業の報告会とシンポジウムを 2022年1-2月に開催します。

12月頃にご案内・参加募集をする予定ですので
今回ご参加が難しい方も、ぜひ！



ワークショップ

3 事例集めWS 定員20名 申込締切 9/30 | 木 | 全5回 10/6～11/24 | 水 | 19:00-21:00 + 最終報告会 2022年1月

高齢者のためのヘルスケアアート 事例を集めてサイトで紹介しよう！

病院や福祉施設などで実施されている高齢者のためのヘルスケアアートの事例を集めて、事例集サイトに掲載する事業です。認知症や身体機能の低下といった高齢者に特徴的な傾向や、介護者の疲弊などの課題を意識しながら、具体的な事例を通して、ケアとアートについて考えを深めます。

※参加者には事例の発表(運営側で PowerPoint のフォーマットを用意)をしていただきます。ご自身の関わった事例や地元で実施されている事例の他、海外資料などを調べての発表などでも構いません。

講師・ファシリテーター

鈴木 賢一 (名古屋市立大学大学院 芸術工学研究科 教授)

山田 紀代美 (名古屋市立大学大学院 看護学研究科 高齢者看護学教授)

【第1回】10/6(水) 19-21時
ガイダンス、「高齢者のケア」について
看護と建築の視点から講義
【第2・3回】10/27, 11/10(水) 19-21時
受講生による各地の事例発表と意見交換
【第4回】11/24(水) 19-21時
全体のふり返りと最終回の内容検討
【最終報告会】2022年2月 日時未定
公開報告会と高齢者とアートに関する講演



名古屋市の高齢者施設のひな祭りイベントで実施した
コンテンツリーダンス公演

参加すると全国からの参加者や
講師・運営メンバーと
情報交換などもできます！

3 事業すべてオンライン開催！

申込方法

ホームページの申し込みフォームから送信ください。

左の募集要項・注意事項もご一読ください。

<https://healthcare-art.net>



HP QRコード

※HPの申込フォームから送信後、送信確認メール(自動返信)が届かない場合は、メールまたはHPのお問合せフォームからその旨ご連絡ください。
※申込期限内であっても定員に達した場合は、受付を終了する場合があります。
※申し込みの方には初回開催までに参加用のZoomURLなどをメールでお送りします。
※応募者が多数となった場合、参加条件を満たした方の中から選考させていただきます。
※複数の事業への申し込みも歓迎いたしますが、応募者多数の場合は一部の事業のみの参加をお願いする場合もございます。
※定員を設けていますので、申し込み後に参加ができなくなった場合は、その旨事務局までお知らせください。

募集要項 ・ 注意事項

何か不明な点や
ご要望などあれば、
お気軽にお問い合わせ
ください

- ・ヘルスケアアートやそのマネジメントに携わりたいという意志のある方。
- ・Zoomの利用ができる方 ※カメラ・マイクのあるPCまたはタブレット(OSやブラウザは最新版推奨)とネット環境(光回線の有線接続、高速Wi-Fi推奨)が必要です。
- ・できるだけすべての回に参加可能な方。
- ・PCメールのやり取りやPowerPointなどを使った簡単な発表ができる方。※聴講のみを希望される方は各事業の最終報告会にご参加ください(報告会の一般参加募集は12月頃開始予定)。
- ・これまでヘルスケアアートへの関わりや本事業への参加経験のない方は、できたらHPに掲載している講義録などをお読みいただいてからご参加ください。
- ・最新の情報をHPやSNSでご案内しています。合わせてご確認ください。
- ・内容やスケジュール、回数などは変更となる場合があります。
- ・規定によって、受講生に謝礼や交通費のお支払いはできません。